

NAGOMU

Nagoya Gourmet-Shop Management Union

PRESS Vol.118

ナゴムプレス（会員情報誌）

2024年12月1日発行 発行：NAGOMU事務局

www.nagomu.com

人間開発（ひとづくり）

商売繁盛（こころのあきない）

社会貢献（おやくだち）



NAGOMU 第337回経営セミナー

日時：2024年11月6日（水）

会場：サッポロビール会議室

演題：日本の食文化継承のために

講師：株式会社BOMA

代表取締役 大島 大五郎氏



トを入管に出さないといけません。だから支援機関が必ず間にいないといけないという決まりになってまして、僕はベトナムの麵食さんという企業と組んでサポートさせてもらってます。日本にも何十何百と支援機関がありますけど、麵食さんは元々自社で支援機関を持っています。

■ 特定技能受け入れ費用
1人採用するのに26万円かかります。それに飛行機代が5万円ぐらい。毎月の費用は1人あたり2万円かかります。ビザ更新に3万4000円。年間で1人あたり27万円の費用がかかります。

■ 思っていること
インフォマートを広めた時も飲食店にパソコン置くなんてふざけるな、考えられない、一席でも多くしたいのにパソコンなんか無理でしょ、って怒られた事がたくさんありました。今はそれが当たり前になってきたストーリーと全く一緒でまだ外国人を採用したことがないっていうお店さんもたくさんいらっしゃるんですが、僕らが中小の企業様からインフォマートと同じように広げて、後で大手さんがついてくればいいなと思っています。中小の企業さんを中心にこういう活動をさせていただいています。そしてテーマは「日本の職文化継承のために」ということで皆様が素晴らしい事業をやられているので、ちゃんと継承しているうよ、継承していく先が別に日本人じゃ

なくてもいいよね、ということと活動をさせてもらっています。僕のゴールは、僕の学校の子が皆さんの店で働くことではなくて「このお店、僕ベトナム帰ってやりたいんです」って言ってベトナムでやる子の海外審査と違って多くの子が名乗り出たらいと思っています。そこで投資とか含めてやっていければと思っています。よくパートナ間違っちゃダメになったという話聞くんじゃないですか。これは難しい話なんですけども皆様の血が通った店舗を海外で、もしくは彼ら彼女の国に帰ってやるっていうのを僕のストーリーとして描いています。5年10年かかるとは思いますけど、この活動を続けていきたいと思っています。

最後に……

①日本の飲食業に憧れる外国人はたくさんいる

②育てる軸となるものは日本人も外国人も同じ

③日本人が辞める会社は外国人も辞める

④日本語が苦手だからお客さんとの接点をなくすのは良くない

⑤差別はNGだが区別は仕方ない

⑥約束通り報酬を与え、疎外感を与えなければ問題ない

繁盛店塾

繁盛店塾（全3回シリーズ）を「月刊食堂」編集長通山茂之氏をお招きし36名の受講生をお迎えし行いました。

第1回目

①「裏テーマ」がすごいメニュー戦略

②メニュー設計8大理論

第2回目

③業種業態論

④商圈・人流分析

第3回目

⑤繁盛ファサード理論

⑥外食業はリーダーシップ業

これからの時代を生き抜く店舗経営幹部であるために、外食経営の基礎となるテーマを6つ用意し、3回に分けて行いました。全国の繁盛店を周り、その秘訣を知る通山氏ならではの分析力で、多くのヒントを持ち帰っていただく事が出来ました。



今後のスケジュール

第338回 経営セミナー

株式会社 Nagethico

代表取締役 細川 雄也氏

日時：1月27日（月）14：30～

会場：ウイंकあいち1203

第339回 経営セミナー

株式会社ファンくる

代表取締役社長 山口 敬人氏

日時：2月19日（水）14：30～

会場：いけす酒場ぴち天名駅中店

第340回 経営セミナー

パネルディスカッション

ファシリテーター

株式会社 PUNZ

代表取締役 深見 浩一氏

パネラー

株式会社 AJドリームクリエイト

代表取締役 蓮川 昌美氏

株式会社 イートジョイ・フードサービス

代表取締役 桜井 博教氏

株式会社 アルムダイニングサービス

代表取締役 杉村 明紀氏

日時：3月25日（火）14：30～

会場：キリンビール会議室

第341回 35周年記念講演&総会

ロイヤルホールディングス株式会社

代表取締役会長 菊地 唯夫氏

日時：4月23日（水）15：00～

会場：メルパルク名古屋

2019年4月～

「特定技能」の在留資格。

『目的』

国内人材の確保が困難な状況にある産業分野において、一定の専門性・技能を有する外国人を受け入れることを目的に創設された在留資格です。

①農業で働きたい
②工場で働きたい
これしか知らないのでは日本の素晴らしい飲食店に繋いだらこの子たちの将来がすごく明るくなるかなと思いましたがコロナ禍でミャンマーの支援は終わってしまいました。その後ベトナムの日本語学校を見に行く機会がありインフォマートを退任し2023年からベトナムの日本語学校の支援をしています。【技能実習】という資格では働けないので、日本で働くには【特定技能】という資格が必要です。ベトナムの首都はハノイで人口1億人、

多分2035年までには日本の人口を越える予想です。

■日本を選ぶ理由

- ①親日である
- ②日本が他国に比べて優しい国民性
- ③社会保障制度や企業の福利厚生制度が良

- ④宗教上のトラブルが少ない

- ⑤稼げる国である

大卒の初任給が平均4万5000円ぐ
らいなので日本に来ると稼げて国に送金
が出来ます。今6つの日本語学校を支援
している中でビラコという学校に1番支
援しています。学校では皆さん共同生活
をして日本での住み方、朝起きたら布
団を畳むなど、生活を綺麗にしていな
いと日本に行けない教育をしつかりされ
ます。

生活がきちんと出来ないと言っても受
けさせてもらえません。

■見学

ベトナムに来ていただくと午前中に授
業に参加してどんな勉強をしているのか
見てもらいます。その後、2〜3社合同
で面接をします。採用の判断は皆さんそ
れぞれですが、自己紹介が終わってから
本気のじゃんけんをひたすらやって表
情がいい子を採用。「お客さんとして来
るからその椅子まで誘導してください」
というテーマで仕事を見て選んだり、
様々な方法で採用判断をしています。

面接を受ける子たちは家族を背負って

人生を賭けてるので、日本企業の皆さん
には四つのお願いをしています。

- ①中途半端な気持ちで面接に参加しない
でください。

- ②採用するかは縁でもあるので無理はし
ないでください。

- ③外国人雇用はお金がかかることを忘れ
ないでください。

- ④区別は仕方ないが差別は絶対にしない
でください。

合格発表は跳ね上がる子もいれば泣き
じゃくって立てなくなる子もいます。

面接が終わった時点ではまだ半信半疑と
いうか実感がない状態ですが、2日目に
合格者に会社説明をし、どういう人にな
ってほしいとか、どういう会社を目指し
てるかということを中心に通訳を通し
て皆さんに説明をします。会社説明を受
けると日本に行ける実感が沸いて皆の表
情が変わります。

今まで5回のツアーで66社が参加し、
6回目は23社。そのうち14社が始めて、
9社は2度目です。2回以上の企業が
20%ありベトナム人を採用して良かった
と思っただいてます。これまでの採
用人数は276人。
アペレージは1社37人です。最初は
5〜7%ぐらいの企業さんがリピーター
として来てくれたらいいなと思ってい
ましたが20%もありやって良かったと思
っています。

■今後の展開

最近、生徒数が8万人のFPT大学と
提携しました。校舎が25か所、レストラ
ン宿泊料が2万人います。そのレストラ
ン宿泊料の卒業後90%は国内の三星以上
のホテルに就職。残り1割はヨーロッパ、
アメリカに就職してます。まだ日本と縁
がないのでここを卒業した子がビラコで
日本語を学んで日本のレストランに導く
というルートを始めました。

その他いろんな国からオファーが来てま
す。インドネシア、ラオス、ミャンマー、
バンングラデシユ、ネパール、スリランカ。
どの人も素晴らしいと思うし日本で働い
てくれるのは非常にありがたいなと思っ
てます。

■ネパール

ネパールの人は日本に特定技能という
資格ができたので日本で働きたくて仕方
ないです。そして日本に来たらネパール
に帰ろうとします。人口は3000万
人でヒンズー教です。国民性は自己主張
が少なく大らかですごく協調性がありま
す。なんで日本に行きたいのか尋ねると
日本人は優しい、おまけに稼げるという
方が多いです。みなさん愛嬌があつて明
るいんです。

日本の自動車産業よりも大きい産業が
日本のレストラン業で寿司、居酒屋だけ
じゃなくていろんな業態のレストランが
あつて働く価値がすごくあるとこなんだ
ということを日本語学校の人たちに説明

た。

去年外食アワードの会社さんは、富士
山に行きたいと希望を聞いて、それなら
富士山登ろうということでベトナム人全
員連れて富士山に登ったようです。スマ
ホで撮った写真を家族に送ったり富士山
の上からビデオ通話をしたりとかして日
本すげえなつていう会話があつたみたい
です。皆さんいろんな型でサポートして
くれます。



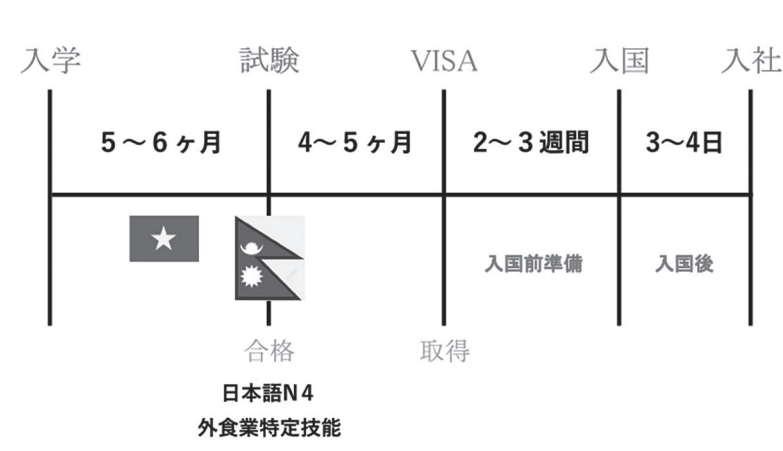
特定技能の資格で来日しても辞める人
はいます。特定技能は転職できる権利が
あるので今大問題になってます。ただ僕
は提供している立場の人間としてポジ
ティブに思うようにしてまして、日本人
の退職率13・9%。飲食業は26%。特定

させてもらっています。

ネパールは文法が日本と全く一緒に、
すごく覚えやすいらしいです。おまけに発
音もしやすいということです。ベトナム
人はたちつてと言えないんです。ネ
パールは発音が同じなので、日本語は簡
単だよという感じで勉強していただい
てます。

■採用後の流れ

ベトナムもネパールも面接をして採用
してもらいますが、すぐに来れるわけ
じゃなくすごく時間がかかります。学校
に入学してから試験を受けるまで5〜



技能は16%でした。と前向きに思うよう
にしています。

辞める理由は

- (1) 待遇給与のことで採める
 - (2) 人間関係
 - (3) ビザの問題
- とにかくお金の事と人間関係(疎外感)
が一番の理由です。結局日本人と一緒
じゃないかなと考えます。

■仕組み

日本語学校があり、送出機関という
のがあります。送出機関が入管を通じて
支援機関とビザを発行するための書類の
やり取りをします。その後皆さんのお店
に入ってきます。入った後も3ヶ月に1
回ちゃんと給料もらってますか。いじめ
られてないですかという面接と、レポー

